

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会

平成27年10月22日同時配布

平成27年10月22日  
国土交通省  
国土技術政策総合研究所

「道路メンテナンス技術集団」に  
国土技術政策総合研究所から専門家を派遣します  
～直轄診断の実施について～

道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められています。

そこで、国土交通省では、地方公共団体への支援策の一つとして、点検等に際して緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い施設について、昨年度より直轄診断（※別紙参照）を実施しています。

国土技術政策総合研究所では、今年度実施される3施設の直轄診断の実施主体である「道路メンテナンス技術集団」の構成員として、下記のとおり専門家を派遣し、これまでの経験や研究により蓄積された知見・教訓を踏まえて、技術的な助言を行います。

記

1. 対象施設名・実施主体

施設名	市町村名	直轄診断実施主体
ぬまお 沼尾シェッド	しもごうまち 下郷町(福島県)	東北地方整備局
さるかいはし 猿飼橋	とつかわむら 十津川村(奈良県)	近畿地方整備局
よぶこおほし 呼子大橋	からつし 唐津市(佐賀県)	九州地方整備局

※現地作業の実施日については、地方整備局より発表されます。

2. 派遣者

- |           |              |              |          |           |
|-----------|--------------|--------------|----------|-----------|
| ・沼尾シェッド   | まぶち<br>間  瀨  | としあき<br>利  明 | 道路構造物研究部 | 構造・基礎研究室長 |
| ・猿飼橋・呼子大橋 | たまこし<br>玉  越 | たかし<br>隆  史  | 道路構造物研究部 | 橋梁研究室長    |

以 上

問い合わせ先

○国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部

シェッドについて 構造・基礎研究室 西田 秀明

Tel:029-864-7189 Fax:029-864-2690

橋梁について

橋梁研究室

しらと まさひろ  
白 戸 真 大

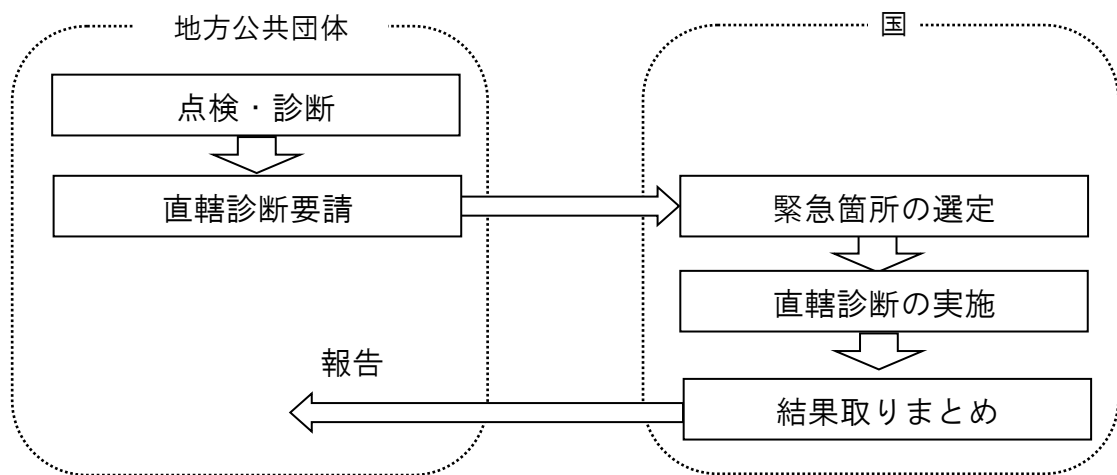
Tel:029-864-4919 Fax:029-864-2690

※「道路メンテナンス技術集団」の派遣についての記者発表資料については、国土交通省ホームページ(アドレス <http://www.mlit.go.jp>)に掲載されています。

## ※直轄診断

「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの（複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等）に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

## 【全体の流れ】



# 【別添】平成27年度直轄診断実施箇所

県名	町村名	路線名	施設名	建設年	延長(m)	緊急性・高度な技術力の必要性 (市町村での点検結果より)
福島県	しもごうまち 下郷町	町道 ぬまお 沼尾線	ぬまお 沼尾シェッド	昭和33年 頃	189	建設後50年以上が経過し、シェッド上部には土砂の堆積が見られる状況の中、主梁・横梁・支柱部等のひびわれ、うき、鉄筋露出などの損傷が散見
奈良県	とつかわむら 十津川村	村道 ひらたにたけとう 平谷竹筒線	さるかいはし 猿飼橋	昭和49年	139	高度な専門技術が求められるダム湖を跨ぐランガー橋であり、支承部を中心に著しい腐食が散見
佐賀県	からつ し 唐津市	市道 よぶこ おおはし 呼子大橋線	よぶこ おおはし 呼子大橋	平成元年	728	高度な専門技術が求められるPC斜張橋を有する橋で、主桁及び橋脚のひびわれ、支承部の腐食、斜材定着部(カバープレート)のボルトの脱落などの損傷が散見

沼尾シェッド



主梁のひびわれ

猿飼橋



支承の腐食

呼子大橋



橋脚のひびわれ